



2022年4月28日

各 位

上場会社名 内外トランスライン株式会社
 代表者 代表取締役社長 小嶋 佳宏
 (コード番号 9384)
 問合せ先責任者 取締役 三根 英樹
 (TEL 06-6260-4800)

2022年12月期第2四半期累計期間及び 通期の連結業績予想並びに 中間配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年2月10日に公表した業績予想及び第2四半期末(中間)の配当予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,800	2,010	2,040	1,390	142.76
今回修正予想(B)	21,600	2,410	2,440	1,660	170.49
増減額(B-A)	3,800	400	400	270	
増減率(%)	21.3	19.9	19.6	19.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	15,370	1,662	1,733	1,160	119.25

2022年12月期通期連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	36,200	4,050	4,110	2,790	286.54
今回修正予想(B)	43,200	4,710	4,780	3,260	334.81
増減額(B-A)	7,000	660	670	470	
増減率(%)	19.3	16.3	16.3	16.8	
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	35,266	3,808	3,922	2,783	285.93

修正の理由

当社グループの2022年12月期における連結業績は、海上コンテナスペース不足並びに旺盛な輸送需要の継続により、以下に述べるように当初業績予想を上回る見込となりました。

(日本セグメント)

船会社との交渉によりコンテナスペースの確保に全力を挙げることで、単体においては主力の海上混載やフルコンテナの単価が予想を上回って推移しております。また、株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパンは、航空貨物の需要を取込むことができました。フライングフィッシュ株式会社は、食品輸送の取扱が順調に推移しております。結果、日本セグメント業績は当初を上回る見込となりました。

(海外セグメント)

当社海外子会社の多くは日本からの貨物に基因する収入を主たる売上としており、各現地法人での貨物取扱量が増加しました。また、フォワーディング案件も好調に推移した結果、海外セグメント業績は当初を上回る見込となりました。

以上の状況により、海上コンテナスペースのひっ迫については、2022年末までには相応の着きを取り戻す可能性はあるものの足下の好業績はここ数か月は継続すると予想されることから、売上高のほか、営業利益、経常利益、親会社株式に帰属する当期純利益それぞれにおいて、2022年12月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を上方修正いたします。

(注)上記の予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なることがあります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2022年2月10日発表)	—	25.00	—	25.00	50.00
今回修正予想	—	30.00	—	25.00	55.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2021年12月期)	—	22.00	—	28.00	50.00

修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要施策のひとつと位置づけ、経営基盤を強化し積極的な事業展開のために内部留保の充実を図りつつ、安定した配当の維持を基本方針としております。

以上の方針に基づき、2022年12月期の中間配当金につきましては、2022年の業績予想を上方修正したことを勘案し、株主の皆様のご支援にお応えするため、1株当たり5円の増配を実施することといたしました。これにより年間配当金は55円となる予定であります。

以 上